

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

新任ご挨拶

たか はし たけ ひこ
思川開発建設所長 高橋 武彦

この度、4月1日付けで、思川開発建設所長として赴任いたしました高橋でございます。皆様方におかれましては、日頃より思川開発事業に格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業は、思川支川の南摩川なんまに多目的ダムとして南摩ダムを建設し洪水調節を行い、南摩川、思川、利根川の中・下流地域の洪水被害を軽減し、また、南摩ダムと黒川くろかわ、大芦川おおあしがわとを導水路で連絡し、河川間で水の融通を行うことで、南摩川等の既得取水の安定化及び河川環境保全等のための河川流量の確保と新たに水道用水を確保するものです。



当事業の実施にあたり、移転をしていただくことが必要となった80戸全ての皆様には既に移転していただき、また、事業に必要な用地も全体の約98%を既に取得させていただいております。永年にわたり住み慣れたお住まいを移転していただいた皆様、大切な土地をお譲りいただいた地権者の皆様のご理解・ご協力について、改めまして厚く御礼申し上げます。

当事業は、「ダム検証」の対象であり、4月上旬には「思川開発事業の検証に関する検討報告書（素案）」をまとめ、一般の方も含め広く意見を聞く場を設けるなど、検証作業を進めているところです。引き続き、関係機関と連携を図り、できる限り速やかに結論が得られるよう努力してまいりたいと考えております。

また、地元の皆様の生活に関連する付替県道工事の一部については、地元関係者の皆様、鹿沼市、栃木県などの関係の皆様のご協力を得て、進捗させていただいている状況です。引き続き、地域の皆様、関係者の皆様のご理解・ご協力に支えられながら、職員一同、一丸となって事業に取り組んでまいりますので、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。



【満開の思川桜（小山市）】

思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場

第6回幹事会が開催されました

現在、思川開発事業は、ダム事業の検証に係る検討を行っているところです。その手続きの一環として「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の第6回幹事会が3月29日に国土交通省関東地方整備局にて開催されました。

幹事会では、思川開発事業における洪水調節、新規利水、流水の正常な機能の維持、異常渇水時の緊急水の補給の4つの目的について目的別の総合評価がなされ、それをふまえて「検証対象ダムの総合的な評価として、最も有利な案はダム案である」との評価結果が示されました。

幹事会に出席された関係都県（茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都）の方々からは、検証の早期完了と一日も早い事業の完成、コスト縮減及び工期短縮を求める御意見をいただきました。

引き続きダム事業の検証に係る検討の進捗を図るとともに、ダム事業の検証中も生活再建事業については、適切に実施してまいりますので、今後とも思川開発事業へのご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

付替県道工事の進捗状況報告（県道上久我栃木線）

しゃくしざわ 杓子沢工区外照明設備工事が完成しました ほか



現在、思川開発建設所では、県道上久我栃木線の付替県道工事を行っています。本年3月には鹿沼市上南摩町杓子沢及び中村地区の区間において「付替県道杓子沢工区外照明設備工事」が完成しました。

この「付替県道杓子沢工区外照明設備工事」は、既に完成している4号トンネル（576m）、6号橋（152m）、7号橋（49m）、8号橋（135m）に道路照明設備を設置する工事です。

今回設置した照明器具は、省エネルギー及び長寿命化に優れたLEDを採用しました。また、橋の外に漏れる光を極力抑え、環境に配慮した設備としました。



【4号トンネル下流側入口】

工事期間中には、工事関係車両の一般道通行時に安全な速度で通行するなどの徹底を図り、地域の皆様にご迷惑をおかけしないよう努めてまいりました。工事の実施に際し、ご理解・ご協力いただきましたことを改めて御礼申し上げます

【豆知識】

トンネルの入り口と中央部では設定している輝度がちがうので、照明の設置間隔が違います。

～思川開発建設所の平成27年度の主な出来事～

昨年度の思川開発建設所では約3年半ぶりとなる「思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場」（幹事会）が開かれるなど、様々な出来事がありました。新年度を迎え、前年度の主な出来事を振り返ってみました。

4月	<ul style="list-style-type: none"> ■人事異動で10名が転出し、新たな10名の職員が転入して、新体制でのスタートをきりました。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ■一般県道^{いたがひきた}板荷引田線の板荷引田トンネル（仮称）が貫通いたしました。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ■鹿沼市・五霞町共催の上下流交流事業「水のふるさと見学ツアー」が開催されました。 ■鹿沼市立上南摩^{かみなんま}小学校の皆さんによる「森林環境教育学習会」が、思川開発建設所が管理する環境保全地で開催されました。 ■南摩地区防犯協会及び鹿沼警察署（西沢駐在所）と連携して、防犯パトロールの取組を開始しました。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ■平成27年9月関東・東北豪雨が各地に甚大な被害をもたらしました。思川開発建設所では、浸水被害等に対する復旧対応等の支援活動を行いました。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ■約3年半ぶりとなる『思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場』の第4回幹事会が開催されました。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ■『思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場』の第5回幹事会が開催されました。 ■県道上久我^{かみくが}栃木線の付替工事である粟沢^{あわざわ}進入路中流工区その2他工事が完了しました。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ■『思川開発事業の関係地方公共団体からなる検討の場』の第6回幹事会が開催され、総合的な評価で「最も有利な案はダム案である」となりました。 ■県道上久我^{かみくが}栃木線の付替工事である杓子沢工区外照明設備工事が完了しました。

思川桜



思川の下流部に位置する小山市では、春先に思川桜が堤防を見事に彩ります。

小山市のシンボル清流・思川の名を冠した市の花「思川桜」は、昭和29年（1954年）に小山で発見され、市民に親しまれてきました。小山市東島田の思川のほとりにある修道院の庭先で、春秋二度咲く「十月桜」の種子を東大理学部附属植物園元主任の故久保田秀夫先生が採取し、種を蒔いて育てたところ花の様子が違っており、色が濃く花は小ぶりの突然変異だったそうです。

修道院のそばを流れているきれいな川のイメージにぴったりとのことから、この新種の桜に「思川桜」と命名し、学会に発表されたものであり、小山市原産の名桜です。2001年からは多くの桜の里親によって思川堤防などに植樹されており、2500本以上の思川桜が小山市に春の訪れを告げるようになりました。

花弁は10片ほどの半八重咲きで、春にだけ花を咲かせます。ソメイヨシノと八重桜の中間の時期に淡い紅色の可憐な花が咲き、その枝ぶりもやわやわと優しいのが魅力です。

（小山市ホームページより引用）



職員の人事異動

4月の異動で所長、課長が交代していますので、お知らせします。



【転入】

- 【所長】 高橋 武彦（武蔵水路改築建設所から）
- 【環境課長】 赤松 芳彦（木津川ダム総合管理所から）
- 【工事課長】 佐藤 隆徳（岩屋ダム管理所から）
- 【調査設計課長】 佐野 貴之（内部異動：工事課長から）

【転出】

- 伊藤 邦展（本社経営企画部へ）
- 小野 雅人（水源地環境センターへ）
- 佐野 貴之（内部異動：調査設計課長へ）
- 前田 剛宏（厚生労働省へ）

今後とも、よろしくお願い致します。

編集後記

好天に恵まれたゴールデンウィークは、いかが過ごされたでしょうか。上手に休暇を合わせれば大型連休となったことから、ゆっくり休まれた方もいれば、疲労困憊の方もいらっしゃるかも知れませんね?! 休みボケを解消して頑張りましょう。今年度もよろしくお願い致します。

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>